

《担当者名》池森 康裕 sr528@hoku-iryo-u.ac.jp

【概要】

身体に障がいがある人の尊厳と自立（律）に向けた生活を支援するためには、生活に関する理論や身体の解剖学的・運動力学的理論を踏まえた根拠に基づく支援が重要である。自立（律）した日常生活を送るうえで必要とされる、移動・食事・排泄・入浴・身だしなみなどに関する基礎知識と生活支援技術について理解する。

【学修目標】

- 1.各場面における生活支援技術の意義や根拠が説明できる。
- 2.福祉用具の安全な活用法を説明することができる。
- 3.利用者の障害に応じて、自立に向けた生活支援技術を理解する。

【学修内容】

回	テーマ	授業内容および学修課題	担当者
1	オリエンテーション	生活を理解する視点と支援の考え方が理解できる。	池森
2	ベッドメイキング	運動力学的原理の理解と活用（ボディメカニクス）ができる。	池森
3	移動の介護	移動のメカニズム理解し障害に応じた福祉用具の活用ができる。 ベッド上での移動方法を理解し、説明できる。	池森
4	移動の介護	歩行に障がいのある方の杖歩行を理解し、説明できる。	池森
5	移動の介護	視覚障がい者へ安全なガイドヘルプを理解し、説明できる。	池森
6	移動の介護	車椅子の機能を理解し、安全な操作ができる。	池森
7	介護予防	介護予防の基礎知識を学び、運動機能向上の方法を理解する。	池森
8	衣服の着脱介護	衣服の意義と障害に応じた着脱方法を理解する。 （座位での着脱）	池森
9	衣服の着脱介護	衣服の意義と障害に応じた着脱方法を理解する。 （仰臥位での着脱）	池森
10	食事の介護	食事の意義と支援方法を理解し、説明できる。	池森
11	食事の介護	嚥下障がいのある利用者に、安全な食事支援の方法を理解し、説明できる。	池森
12	排泄の介護	排泄の意義と目的を理解し、説明できる。 障害に応じた排泄用具を理解し、説明できる。	池森
13	排泄の介護	ベッド上での排泄方法を学び、安楽な姿勢の保持を理解し、説明できる。	池森
14	清潔の介護	身体状況に応じた保清の方法を理解する。安全安楽な足浴を理解し、説明できる。	池森
15	入浴の介護	入浴の意義と目的を理解して、利用者の状態に応じた入浴支援を理解し、説明できる。	池森

【授業実施形態】

面接授業

授業実施形態は、各学部（研究科）、学校の授業実施方針による

【評価方法】

期末試験80%、授業態度（服装を含む）20%

【教科書】

使用しない。レジメに従って資料を配布する。

【参考書】

介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座6『第2版生活支援技術』中央法規2022

介護福祉士養成講座編集委員会編集：最新・介護福祉士養成講座7『第2版生活支援技術』中央法規2022

【備考】

この科目は、教職課程（福祉）では、教科に関する科目の「介護理論・介護技術」に該当する。

【学修の準備】

演習を中心に学ぶことから、次のことを守って受講すること。

1. 演習では動きやすい服装と上靴を準備すること。
2. 腕時計、イヤリングなどのアクセサリは外すこと。
3. スカートや外靴では演習を受けられないので注意すること。
4. 講義・演習で渡した資料はファイルに保管して、次の演習まで復習すること。（復習）
5. 演習を行う上では、次回の内容を事前にシラバスで確認し予習しておくこと。（予習）
6. 欠席した場合、学生の申し出により資料を配布するので、研究室まで取りに来ること。
予習：2時間 復習：2時間

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP2：福祉専門職に必要な知識・技術を修得し、健康や生活に関する問題に対して、適切かつ柔軟に判断し解決できる学術的・実践的能力を身につけている。

DP1. 人間の生命および個人の尊重を基本とする高い倫理観と豊かな人間性を身につけている。

DP3：社会環境の変化や保健・医療・福祉の新たなニーズに対応できるよう自己研鑽し、自らの専門領域において自律的・創造的に実践する能力を身につけている。

DP4. 保健・医療・福祉をはじめ、人間に関する様々な領域の人々と連携・協働できる能力を身につけている。

【留意事項】

演習時は、学生同士のグループで進めるので、遅刻・欠席は他の学生へ影響を及ぼすので次の点に注意する。

1. 遅刻、早退、欠席は極力避けること。
2. 15分以上の遅刻・早退は欠席扱いとする。
3. 遅刻・早退3回で1回の欠席としてカウントするので注意すること。

【実務経験】

介護福祉士

【実務経験を活かした教育内容】

介護老人福祉施設での実務経験を通じて得た知識・技術・態度等を活用し、実践的な教育を行う。